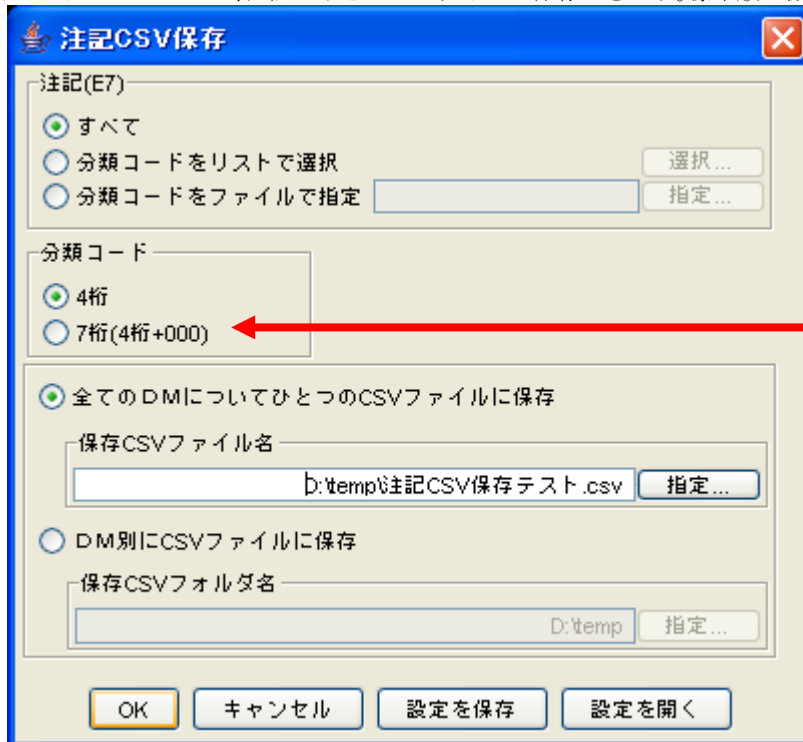


1. 注記 CSV 保存

メニュー[ファイル]-[注記 CSV 保存]で、出力する CSV の取得分類コードに 7桁(4桁+000)のオプションを追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

開いているDMデータについて、注記のみを CSV ファイルに保存できます。標準版の機能で、チェック版では使えません。



【分類コードをファイルで指定】「15.5.分類コード指定ファイル」を参照してください。

【4桁】CSV の 2 列目の分類コードを 4 桁の整数で出力します。

【7桁】CSV の 2 列目の分類コードを 7 桁(4桁+「000」)の整数で出力します。

【全ての DM についてひとつの CSV ファイルに保存】開いている DM データファイルすべてについて、ひとつの CSV ファイルに保存します。保存する CSV ファイル名を指定します。

【DM 毎に CSV ファイルに保存】開いている DM データファイル別に CSV ファイルを保存します。保存するフォルダを指定します。CSV ファイル名は DM データファイル名+.csv になります。

保存する CSV ファイルの一行目はヘッダで、各列の説明です。データは 2 行目からです。

列	型	内容
1	文字列	図郭識別番号(図郭レコード(a)の図郭識別番号)
2	整数	取得分類コード(4桁あるいは7桁(4桁+000))
3	文字列	注記の名称
4	実数	字大 mm 単位で小数点以下 1 桁 (DM データファイルでは 0.1mm 単位の整数で記録)
5	実数	字隔 mm 単位で小数点以下 1 桁 (DM データファイルでは 0.1mm 単位の整数で記録)
6	整数	縦横区分 横書きは 0、縦書きは 1
7	整数	文字列の方向 度単位で-180° から 180° まで
8	実数	測量座標の X 代表点の座標値 平面直角座標系の m 単位
9	実数	測量座標の Y 代表点の座標値 平面直角座標系の m 単位

出力例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	図郭識別番号	取得分類コード	注記の名称	字大	字隔	縦横区分	文字列の方向	X座標	Y座標
2		8121	県道○○	3	3	1	-127	-68509.56	5785.29
3		8125	○○橋	2.5	1.3	1	-90	-68680.73	5685.95
4		8125	新○○橋	2.5	1.3	1	-90	-68922.7	5569.33
5		8131	○○神社	2.5	0.6	0	0	-68141.08	5667.78
6		8131	○○寺	2.5	0.6	0	0	-68183.13	5666.94
7		8131	○○宮	2.5	0.6	0	0	-68682.01	5465.06
8		8131	○○公民館	2.5	0.6	0	0	-68449.96	5752.92
9		8131	○○	2.5	0.6	0	0	-68968.13	5631.32
10		8131	クリーンセンター	2.5	0.6	0	0	-68975.47	5631.09
11		8151	○○川	3.5	3.5	1	-135	-68574.41	5852.8

2. DXF インポート

オプションメニュー[ファイル]-[インポート DXF]に以下の機能を追加しました。詳しくはオプション説明書を参照してください。

- ・オプション[3次元の地物]を追加しました。
- ・ボタン[設定を保存][設定を開く]を追加しました。
- ・字隔の設定について、テキストに含まれる FF66, FF6C, FF78 のコードによる判定を追加しました。